

令和5年度 金沢型学習スタイル実践推進事業 報告書

金沢市立森本中学校	重点課題推進校	ICTの活用
-----------	---------	--------

1 研究の重点と具体的な取組

(1) 重点1 ICTを効果的に利活用した授業実践

ICTの有効度を論じた村井(2021,2022)の分類(有効、有用、代用)にもとづいて、授業実践を評価しながら改善を進める。

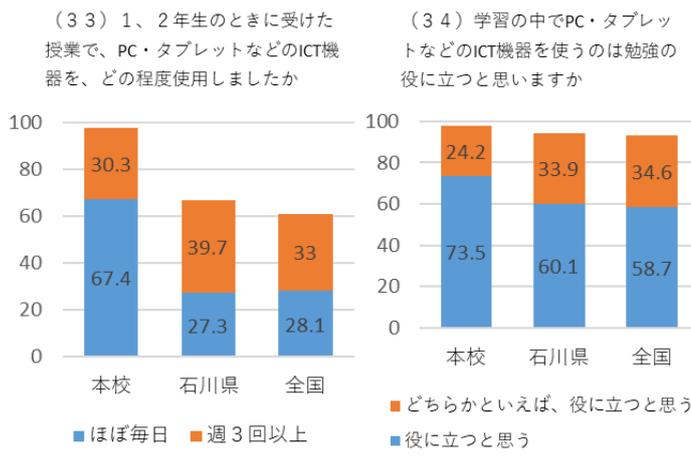
個別最適な学びに向けて、どのような手段があるのかを考え、取り組む。

(2) 重点2 ICTの活用技能を高める研修システムと学習プログラムの確立

教員と生徒のICT活用の実態を見ながら、どのようなプログラムでICT活用を技能を高めていけばよいかを実践・検証していく。

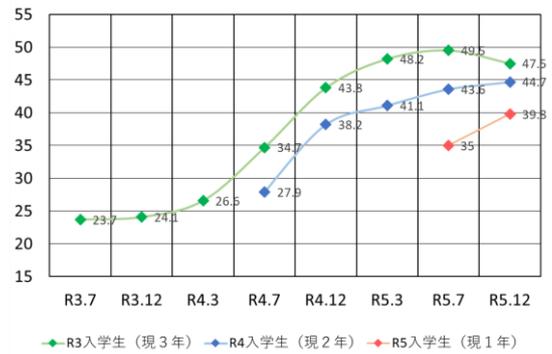
2 取組の検証

①全国学力・学習状況調査より



②ICT活用スキル(タイピングスキル)

生徒(入学年度ごと)の文字入力速度(文字/分)の推移



	本校	金沢市平均
1分間のかな入力	134.5 文字/分	81.0 文字/分
入力にかかる時間の例	200文字	1分29秒
	400文字	2分58秒
	600文字	4分28秒

各種アンケート肯定的回答の割合

③生徒アンケート「ICT等を活用して

自分の考えをまとめたり表現したりできている」1学期 91.8% 2学期 93.6%

④教師アンケート「大型提示装置や端末の利用を学習活動に組み入れることができた」

1学期 89% 2学期 99%

⑤公開研究授業アンケート(参観者100名)「ICTが効果的に活用されている」100%

3 成果と課題

端末導入当初から、タイピングスキルの向上がICTの活用を促進させるという前提で取り組んできた。生徒のスキル変容が明らかになることで、教員は自信を持って授業改善を進めていくことができた。ICT機器は、毎日ほとんどの教科で活用されている。また、生徒の「ICTが役に立つと思う」という回答から、生徒は有用性を認識しており、教科の本質に迫る効果的な使い方にいくばくかせまることができたと考えられている。

ICTを活用した表現活動が行われ、意見の表出や共有ができているので、来年度はICTを効果的に活用した授業、特に「個別最適化」の部分の実践を進めていきたい。端末の持ち帰りは長期休み以外行っていないが、今後は家庭学習での活用にもつなげていきたい。